

<学会からのお知らせ>

マテリアルライフ学会 「第5回マイクロプラスチック シンポジウム」

【会期】2022年12月6日(火)9時50分～15時10分 【会場】オンライン開催

海に流れ出た大量のプラスチックごみが引き起こす環境汚染が世界的な問題になっています。2019年に大阪で開かれたG20首脳会議で、新たな海洋プラスチック汚染を2050年までにゼロにする事を目指す「大阪ブルー・オシャン・ビジョン」が宣言されました。日本政府は、その実現のため「マリーン (MARINE)・イニシアティブ」を立ち上げ、プラスチックの重要性を認識しつつ誤った管理によるプラスチックごみの流出 (Leak) を減らす国際的な取組みを始めました。2022年4月には、プラスチックの資源循環を一層推進していくことを目的に「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律 (略称：プラスチック新法)」が施行されました。最近では、水域のプラスチックごみ・マイクロプラスチックだけでなく空中に漂うマイクロプラスチックにも焦点が当たり始めています。

マテリアルライフ学会では、劣化やエコマテリアルを専門に扱う学会として、プラスチックごみ問題に取り組んでいる専門家や第一線のマイクロプラスチック研究者を招聘し、最新情報の共有と意見交換を目的として2018年以降毎年マイクロプラスチック・シンポジウムを開催してきました。第1回シンポジウムでは、定義と測定法、生態系への影響、生分解度、海洋中での移動について4件の講演がありました。第2回シンポジウムでは、前半の部でマイクロプラスチック問題について幅広い視点から3件の講演があり、後半の部では環境中でプラスチックが微細化する過程に関する3件の講演がありました。第3回シンポジウムでは、前半の部でマイクロプラスチック問題について幅広い視点から2件の講演があり、後半の部でISOの審議状況や分析法、特にナノプラスチックの分析法に関する3件の講演がありました。第4回シンポジウムでは、前半の部で環境中にLeakしたプラスチックごみが河川などを通じて海洋中に流出する過程の検証について3件の講演があり、後半の部でプラスチックごみを環境中に流出させないための対策について3件の講演がありました。

これを受けて、マテリアルライフ学会では2022年12月に第5回マイクロプラスチック・シンポジウムを開催します。今回は4名の専門家を招聘し、午前の部ではプラスチック新法と資源循環の取り組みについて2名の専門家に講演していただき議論します。午後の部では最新の分析技術と空中に漂うマイクロプラスチックについて2名の専門家に講演していただき議論します。

プラスチックごみやマイクロプラスチック問題に関心をお持ちの方々の参加をお待ちしております。

シンポジウムは、下記の要領で開催します。

水環境学会、廃棄物資源循環学会、他

日時：2022年12月6日(火)9:50~15:10

募集人員：100名

会場：オンライン開催 (Zoom)

参加費 (予稿集代含む)

予稿集はシンポジウム後の送付となります) :

主催：マテリアルライフ学会

マテリアルライフ学会員：3000円、協賛団体会員：3000円、非会員：6000円

協賛 (予定)：機能性フィルム研究会、繊維学会、日本ゴム協会、プラスチック成形加工学会、色材協会、日本材料学会、日本化学会、高分子学会、日本建築学会、特定非営利活動法人最終処分場技術システム研究協会、公益財団法人日本下水道新技術機構、日本分析化学会、日本

申込方法：

申込用紙によるメール、FAX、郵便による直接申込またはマテリアルライフ学会 HP より

プログラム (敬称 略) :

9時50分～10時00分: 開会挨拶 (黒田真一)

午前の部: 座長 五十嵐敏郎

10時00分～11時00分: 講演I (環境省: 水谷 努)

【演題】 プラスチック資源循環法の制定をはじめとする最近の動向

【内容】 本年4月に施行したプラスチック資源循環法は、製品の設計から廃棄物の処理に至るまでのライフサイクルの各段階において、あらゆる主体におけるプラスチックの資源循環の取組を促進する。本法律の概要と最近の動向について解説する。

11時00分～12時00分: 講演II (プラスチック工業連盟: 加藤英仁)

【演題】 プラ工連のプラスチック資源循環の取組について

【内容】 日本プラスチック工業連盟は2019年5月に独自の「プラスチック資源循環戦略」を公表し、現在これに基づいて、プラスチック資源循環委員会の下に4つのWG (再生材利用推進WG・バイオプラスチック利用推進WG・PETWG・PSWG) を組織し、戦略を推進している。その進捗状況を中心に講演する。

午後の部: 座長 黒田真一

13時00分～14時00分: 講演III (アジレント・テクノロジー社: 西村 新)

【演題】 QCL-IR を利用した LDIR 技術とそのマイクロプラスチック分析への応用

【内容】 QCL レーザーを搭載し、Agilent が独自開発した LDIR システムの概要について説明し、この技術を用いてマイクロプラスチックの分析を迅速かつ簡便にする、従来にない新しいアプローチを紹介する。

14時00分～15時00分: 講演IV (早稲田大学: 大河内博)

【演題】 大気中マイクロプラスチックの実態解明

【内容】 大気中マイクロプラスチックの世界における研究動向を紹介し、環境研究総合推進費『大気中マイクロプラスチックの実態解明と健康影響評価』で得られた成果を紹介する。

15時00分～15時10分: 閉会挨拶と2023年の計画 (五十嵐敏郎)

----- キリトリセン -----

行事申込用紙

【申込先】 マテリアルライフ学会 〒116-0011 東京都荒川区西尾久 7-12-16 (株)ソウブン・ドットコム内 TEL.03-3893-0111 FAX.03-3893-6611 E-mail:mls@kt.rim.or.jp	
参加申込書 (コピー可)	行事名: マテリアルライフ学会 「第5回マイクロプラスチック シンポジウム」 (2022.12.6)
	参加者名 (複数可)
	勤務先
【参加費】 マテリアルライフ学会員: <input type="checkbox"/> 3,000 円 協賛団体会員: <input type="checkbox"/> 3,000 円 非会員: <input type="checkbox"/> 6,000 円	TEL. FAX. E-mail:
【送金方法】 どちらかを選択し○で囲んでください ①銀行振込: みずほ銀行 兜町支店 普通口座 1505652 ②郵便振替: 00120-2-708181 振込予定__月__日 口座名: マテリアルライフ学会 ※請求書 (要・不要)	連絡先 〒 ----- -----

※参加費の該当箇所を○で囲んで下さい。

↑※連絡先は明瞭にご記入下さい。